

2022年度 日本工学院専門学校											
ゲームクリエイター科／ゲームプログラマー・ゲームプランナー共通											
実践実習 1 B											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	市原 暁			実務経験	有	職種	エンジニア				
担当教員紹介											
長年ゲーム制作の現場で、エンジニアとして様々なプラットフォームの様々なジャンルのゲームを制作してきた。その経験を生かして、ゲームプログラミングの技術指導、そしてその基礎となる数学、物理等の授業を展開している。											
授業概要											
実際にチームを組みゲーム制作を行う。ゲーム制作を実際に行うことによりゲーム制作に必要なスキルを習得する。ゲームの企画を発想し企画書にまとめ、実装、ゲーム作品を完成させる。											
到達目標											
チームを組むことでゲームを企画し制作して完成させる。完成までの流れを体験することでゲーム制作に必要なプログラミングスキルだけでなくチームで活動することにより対人コミュニケーションスキルも身に付ける。また、作品の完成度によって、コンテストに応募、受賞を目指す。											
授業方法											
教員側で指定されたチームでチーム制作を行う。チーム制作ではゲーム制作に必要なプログラミングスキルはもちろんデータの共有方法（バージョン管理）から授業以外でのコミュニケーション方法までゲーム制作に必要なスキルについて学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題	75%	チームで制作した作品の完成度、スケジュールの達成度で評価									
平常点	25%	授業態度（取り組み姿勢・挨拶・返事など）によって評価									
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料を提示する 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	制作班の発表、オリエンテーションを実施し、制作班で企画作業を開始する										
第2回	教員による企画チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける										
第3回	各班で作業分担し、α 版を完成させるための作業を行う										
第4回	教員による α 版チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける										
第5回	各班で作業分担する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ゲームクリエイター科／ゲームプログラマー・ゲームプランナー共通	
実践実習 1 B	
第6回	β版を完成させるための作業を行う
第7回	β版を完成させるための作業を行う
第8回	β版を完成させるための作業を行う
第9回	教員によるβ版チェックを実施し、承認されるまでチェックを続ける
第10回	各班で作業分担する
第11回	マスタ版に向けて追加作業をする
第12回	マスタ版に向けて追加作業をする
第13回	ブラッシュアップ作業を行う
第14回	教員によるファイナル版チェックを実施し、最終的な成績評価も実施する
第15回	完成作品のプレゼンテーションを実施する